

みなとぴあボランティアレター 第33号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2017.7

2017年度がはじまりました！

4/9 ボランティア総会・懇親会

今年度も総会から2017年がスタートです。昨年度の総括と今年度の予定などを確認する総会には、43名の方々にご出席いただきました。また、今年度新たに登録されたボランティアさんは精鋭の5名！このうち4名の方にご出席いただけただので、登録ボランティアとしてのネームプレートのお渡しとともに、簡単にご挨拶いただきました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

総会の後には、翌週のボランティアフェスティバルの準備もありました。新しい体験プログラムの練習会です。[写真右]



総会の様子。田嶋学芸員のあいさつからはじまりました。



懇親会は駅前の「虎治郎の店」さんで。新規ボランティアさんには熱い抱負を語っていただきました。

4/16 ボランティアフェスティバル

今年度のボランティアフェスティバルは、桜にあわせての開催でした。当日はちょうど桜も満開！絶好のお花見日和かと思いきや、強風に屋外のプログラムは四苦八苦、スタンド式の看板も真っ二つに…。そんな中でもボランティアのみなさんにご活躍いただき、多くのお客様にご来場いただきました。



今回初めての企画だったのが「春のお茶席」。石州流の鎌田清子さんにご協力いただき、旧税関庁舎の前、桜の下で野点の本格的なお茶とお菓子を楽しめるという企画です。ボランティアスタッフも、みなとびあ特製の法被や、お茶席にぴったりのお着物を着てくださった方もいて、お客様をおもてなしました。[写真上]

また、今回は耐震工事で休館中の旧新潟税関庁舎を、特別に公開する企画も。工事を担当する市の公共建築第1課の協力で、内部をご案内していただきました。なかなか見られない貴重な機会であり、スタッフとして活動中のボランティアにも積極的に参加してもらいました。[写真左上]

館内では、おなじみの体験プログラムや、常設展示室でのクイズラリーを行いました。体験プログラムは小さなお子さんから楽しんでもらえる内容にしようということで、簡単に作れる凧や折り紙かぶと、紙ヒコーキのプログラムをご用意しました。また、入口では気軽に参加できる桜の折り紙作りもあり、親子連れや通りがかりの方々も集まってにぎやかでした。[写真左中]

クイズラリーは、それぞれの時代の衣装を着てのガイドで、一昨年からたびたび開催しています。お客様から、「昔の衣装の人のイベントってまたやらないの？」と聞かれるなど、少しずつ知られるようになってきているようです。スタッフもお客さんも、出会いから自然と笑顔になってしまう、そんなイベントです。[写真左下]



入口に古墳時代の角髪（みずら）姿、出口には奈良時代の女性と江戸時代の武士が。





この日、芝生広場では「下町をよくする会」さん主催の「堀と桜のコンサート」も開催されました。桜の時期にあわせた恒例のイベントであり、今回、同日開催のかたちにさせていただきました。おかげさまで音楽も楽しめて非常ににぎやかな1日となりました。

また、芝生広場の一面には飲食出店もあり、イベントを盛り上げてくれました。

ボランティアさんのおすすめで出店が実現しました。ご近所の早川堀通りにオープンしたばかりの「みなと街ベーカリー」と、開店一周年だという駅前の「おにぎり専家ぬくもり屋」さん、そしておなじみ「カーブドッチ」さんのドリンク販売です。イベント終了前に売り切れたものもあり、大好評だったようでした。

お客様、そしてスタッフも一緒に楽しめたボランティアフェスティバルだったと思います。みなさま、本当におつかれさまでした。



堀と桜のコンサート

よろい研究会 おとなのよろい試作

前号でもご紹介したよろい研究会ですが、大人用のよろいの試作が進んでいるのでご報告です。毎月1回のペースで集まり、メンバーのお1人がお持ちの手作りよろいを見本に、制作方法なども含めいろいろと試しているところです。

そしていま、よろいの主要部分を作るために、硬めの紙材が必要になっています。お菓子やギフト用などの化粧箱で、不要なものがあればぜひ持ってきていただけますでしょうか。ご協力のほど、よろしく願いいたします。もちろん研究会への参加協力も大歓迎です。



↑これは初期の部分試作。黒光りする質感にもこだわっています。



←当館所蔵の川村修就のよろいも参考に。ノートパソコン上で画像を確認しながらの作業の様子。

職員のご紹介



企画普及課 総務担当次長

のざき ひであき
野崎 秀明

新潟市中央区出身

皆さん、こんにちは。

昨年3月末に新潟市を退職し、4月から広報・宣伝や地域連携などの業務に携わっています。市役所時代には歴史文化関連部署の経験はなく、みなとぴあ勤務を通して教科書には載っていなかった新潟が開港した時期など新しく得た知見も…よろしくお願ひします。



企画普及課

わたなべ ゆか
渡辺 裕香

新潟市東区出身

4月に財団総務課から企画普及課へ異動してきました。民間企業に勤めていた2年前まで、まさか、みなとぴあで働ける日が来るとは想像もしていなかったのでも嬉しひです。実際働いてみて初めて、みなとぴあがボランティアの皆様を支えられて成り立っていることを知りました。今後とも末永く宜しくお願ひいたします。

当日ガイドがはじまります！

館内に待機して、来館時にガイドを希望されたお客様に対応できるようにする《当日ガイド》。ボランティアの声が集まり、昨年度の総会で提案してからアンケート実施などを経て、やっとここまできました。

まずは土・日曜のみの実施で、希望者を募って2か月分のシフトを作ります。参加者にボランティア通信でお知らせするほか、ボランティア室に掲示するので、変更・追加したい方は自由に書き込んでください。なお、予定が合わなかった場合の、館への連絡は不要です。

当日は、常設展示室の入口に待機スペース（小机・イス）を用意し、そこにガイドの案内表示を出します。基本的にはガイド希望を申し出てくださったお客様に対応するというこゝで、必要以上に呼びかけをする必要はありません。むしろ挨拶でのおもてなしをお願ひしたいと思ひます。

もちろんこれはまだまだ実験的なものです。まずはお気軽にご参加ください。

【編集後記】

33号は、今年度真っ先に行われたボランティアの一大イベント《ボランティアフェスティバル》を中心にご紹介しました。年度はじめのスタートダッシュ、おつかれさまでした。とはいえ、よろい研究会は着々と進み、当日ガイドもようやく開始であり、2017年度の活動はまだまだこれからです。よろしくお願ひいたします。（中村）

2017. 5. 28 現在

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただひています。

